

宇宙開発の現状報告

(平成 18 年 4 月 11 日～平成 18 年 4 月 18 日)

平成 18 年 4 月 19 日
宇宙開発委員会事務局

宇宙開発に関する国内の動向

4 月 13 日 (木)

- ・「あかり」の望遠鏡蓋開け成功【独立行政法人宇宙航空研究開発機構】

赤外線天文衛星「あかり」(ASTRO-F)は、2次元太陽センサーが使用できないことに伴う、安全な姿勢制御を行うための衛星搭載ソフトウェアの改修と動作確認試験を完了したことから、4月13日観測機器の望遠鏡の蓋開け(アパーチャードの開放)を行い、打上げ後の主要な初期運用イベントを終了した。

現在、「あかり」は、電力・姿勢とも安定しており、観測系も正常である。

4 月 17 日 (月)

- ・運輸多目的衛星新1号「ひまわり6号」、気象観測を再開【国土交通省航空局・気象庁】

4月17日午前0時57分、運輸多目的衛星新1号「ひまわり6号」に発生した姿勢の不具合に関し、あらかじめ定めら

れた手順に従い復旧に努めた結果、午前5時前に姿勢が復旧した。

その後、衛星の姿勢制御等の機能確認を実施し、異常がないことを確認。順次ミッション機器の電源を再投入し、機能の確認を行った後、気象観測機器の復旧作業を行い、午後9時から正常な運用を再開した。

宇宙開発に関する海外の動向

4 月 13 日 (木)

- ・ゼニット 3SL、通信衛星の打上げ成功【米、日】

4月12日23時30分(世界標準時)、シー・ロンチ社は、太平洋赤道付近のプラトフオーム「オデッセイ」からゼニット3SLロケットを打ち上げ、JSAT株式会社の通信衛星「JCSAT-9」の軌道投入に成功した。打上げ時の重量は約4.4t。

4 月 15 日 (土)

- ・ミノタウロス1、小型科学衛星6機の打上げ成功【米、台】

4月15日1時40分(世界標準時)、オービタル・サイエンシズ社は、バンデンバーグ空軍基地からミノタウロス1ロケットを打ち上げ、米国と台湾の共同ミッション

「FORMOSAT-3/COSMIC」の小型科学衛星6機の軌道投入に成功した。これらの衛星は、台湾国家宇宙機関によって運用され、気象予測、電離圏・重力研究、気候変動分析のためのデータ収集を行う。打上げ時の重量は、それぞれ約62kg。